

令和4年7月

小・中・特別支援・高等学校長様
幼稚園・保育園長様

東海北陸地方放送教育研究協議会
愛知県視聴覚教育研究協議会
会長 鈴木俊二

令和4年度 **第60回 東海北陸地方放送教育研究大会**
第54回 愛知県放送教育特別研究会の開催について（二次案内）

本会は、放送をはじめとする視聴覚教材を日ごろから利用している方、これから利用してみたいという方が集まり、具体的な実践を基に参加者全員で考え合う会です。

また、東海北陸地方の幼稚園・保育園から高等学校までの先生方が一同に会して情報交換のできる貴重な会です。ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

大会テーマ「未来を拓く学びの場を創造しよう」

- 1 日 時 令和4年8月26日（金）10時～16時
- 2 配信会場 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）オンライン開催
名古屋市中村区名駅四丁目4-38 TEL (052) 571-6131
※ JR・名鉄・近鉄・地下鉄「名古屋」駅より東へ徒歩約5分
- 3 主 催 東海北陸地方放送教育研究協議会 愛知県視聴覚教育研究協議会
全国放送教育研究会連盟 NHK名古屋放送局
- 4 共 催 NHKサービスセンター
- 5 後 援 文部科学省 厚生労働省 内閣府（申請中） 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 名古屋市教育会

6 日 程	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
（予定）	受付	開会行事・講演	昼食	部会研究	

- 7 講演 田村 学氏 國學院大學人間開発学部初等教育学科教授 文部科学省視学委員

演題「令和の日本型学校教育の構築—主体的・対話的で深い学び—」

新潟県公立学校教諭、上越教育大学附属小学校教官、柏崎市教育委員会指導主事、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、文部科学省初等中等教育局視学官、平成29年より現職。日本生活科・総合的学習教育学会副会長、中央教育審議会架け橋特別部会臨時委員、産業構造審議会臨時委員、文部科学省視学委員など。主な著書「思考ツールの授業」（小学館）、「授業を磨く」（東洋館出版社）、「生活・総合アクティブ・ラーニング」（東洋館出版社）、「カリキュラム・マネジメント入門」（東洋館出版社）、「深い学び」（東洋館出版社）、「深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント」（文溪堂）、「学習評価」（東洋館出版社）など。



8 部会研究一覧

主な校種	部 会	部 会 の 内 容
幼稚園 保育園 小学校	① 感じる心を育てる部会	園児・低学年の児童一人一人の感性を伸ばし育てるために放送番組などを活用した実践について考えます。幼保小の連携という観点から、幼稚園、保育園、小学校低学年の先生方の参加をお願いします。
小学校 中学校	② デジタルコンテンツ活用部会	放送番組やDVD教材等のデジタルコンテンツを活用した実践について考えます。
全校種	③ 情報モラル研究部会	情報モラルに関する実践発表を通して、情報社会の中で必要な指導やその方法について考えます。
高等学校	④ メディア研究部会	教科学習の中で様々なメディアを利用し、より効果的な学習方法を追求した実践について考えます。

9 参加について

(1) 参加費・資料代 **無料**

※ 参加希望の方には、メールにて資料のダウンロード方法と、当日の zoom ミーティングへの参加方法をお知らせします。

(2) 申し込み方法 7月31日(日)までに、下記のメールアドレス宛てに、必要事項を記入して、お申し込みください。

申し込みメールアドレス housoutokken@gmail.com

※ メールには

①学校・園名 ②勤務先住所 ③電話 ④氏名 ⑤メールアドレス ⑥希望部会No.

を必ずご記入ください。

10 問い合わせ先

名古屋市立大高南小学校 野村雅紀 TEL052-622-2770 (平日 9:00~17:00)

※ 受付後、メールで「URL」「ミーティング ID」「パスワード」をお知らせいたします。

※ 参加希望数を把握するため、希望部会No.もご記入ください。但し、当日はブレイクアウトルームで部会への参加を選択してください。